

# 1月の衛研検査情報

～概要版～

## 横浜市内の蚊成虫生息状況調査結果（令和元年5～10月）

令和元年は、電池式ライトトラップを用いた蚊成虫捕獲調査と、捕虫網を用いたヤブカ属の捕獲を目的とした8分間人<sup>ひとおと</sup>囀法を行いました。捕獲された蚊は調査場所ごとに種類を同定し、雌成虫については、フラビウイルス属（デングウイルス、ジカウイルス、ウエストナイルウイルス、日本脳炎ウイルス）及びチクングニアウイルスの遺伝子検査を実施しました。

**主な結果** ライトトラップ法で捕獲された蚊成虫の雌雄合計は、ヒトスジシマカ<sup>ひとおと</sup>7,820個体（70.2%）を筆頭に7属11種11,142個体でした。また、人<sup>ひとおと</sup>囀法で捕獲された蚊成虫は、ヒトスジシマカの雌成虫が404個体、雄成虫が273個体、合計677個体でした。雌成虫について実施した蚊媒介感染症の原因ウイルスの遺伝子検査は、全て不検出でした。

## 食品中の動物用医薬品検査結果（令和元年11月）

令和元年11月に健康福祉局食品専門監視班が収去及びインターネットで購入した食品中の動物用医薬品検査結果を報告します。

**主な結果** 魚介類9検体（さけ目魚類（サーモン2検体）、すずき目魚類（ブリ1検体）、甲殻類（エビ1検体）、その他の魚類（ヒラメ5検体））について検査を行った結果、全ての項目で不検出でした。

## アレルギー物質を含む食品の検査結果（令和元年10月）

令和元年10月に健康福祉局食品専門監視班が市内結婚式場から、各区福祉保健センターが市内の小学校からそれぞれ収去した特定原材料除去食について、卵、乳、小麦の検査を行いました。

**主な結果** 卵、乳、小麦の検査において、ELISA法によるスクリーニング検査の結果、全て陰性（10ppm未満）でした。

## 衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページでは、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



**主な結果** 令和元年12月は、横浜市感染症情報センタートップページ、大麻（マリファナ）、インフルエンザ流行情報（2019/2020）、トキソプラズマ症について、に関するページのアクセスが多くみられました。総件数は420,042件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページをご覧ください



<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/geppo/inspection-inf.html>

横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査などの結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。